

令和元年度(平成 31 年度)

公益社団法人 伊勢市観光協会

事業報告書

公益社団法人伊勢市観光協会 令和元年度事業報告

本年は、平成から令和へと御代が替わり、日本中が奉祝ムードに包まれる中、皇室とのかかわりの深い伊勢市への注目度も上がり、来訪者も神宮統計上で過去3番目となる973万人(1月～12月)となりました。やはり、メディアにて連日取り上げられたことが注目度を上げ、来訪者の増加に繋がったと考えております。

伊勢市におきましては、御代替わりに際し御大礼奉祝委員会が立ち上げられ、御来勢されました上皇上皇后陛下、今上天皇皇后両陛下を奉迎し、記帳所の開設や提灯行列により平成感謝と御即位の奉祝をお手伝いさせて頂きました。

しかしながら、年度後半の12月に中華人民共和国武漢市にて発生した新型コロナウイルスの感染拡大が、2月初旬の春節休暇に合わせて世界へと広がり、日本でも深刻な感染拡大を引き起こしました。政府が不要不急の外出の自粛などを呼びかけたこともあり、2月中旬から3月の春休みの観光シーズンにかけて出控えが起こり、観光客数の大幅な下落を引き起こしました。

次に実施事業の概要ですが、情報発信事業の外国人観光客誘致事業におきましては、タイで行われたFIT(個人旅行)フェアに2年目の参加を果たし、三重県、近畿日本鉄道との協働PRを行いました。併せて、次期ターゲットであるシンガポールへ立ち寄り、誘客イベントの打ち合わせと視察を行いました。

本年度も観光PR事業とリンクした観光物産展を神奈川県で開催しました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響を受け、3月に東京と札幌で予定していた観光PRは残念ながら中止となりました。同じく、東京にて開催予定をしておりました観光御師事業の御師会議と伊勢観光振興交流会も中止となりました。

広報宣伝におきましては、青年部が担当しております伊勢のファンクラブ事業においては、SNSを利用した「伊勢フォトグランプリ」を実施しました。

伊勢での行事に関しましては、日本観光祈願祭や越年行事などの例年行事を開催し、お越しになる皆様におもてなしとPRを行ないました。伊勢神宮奉納全国花火大会では共催として運営に関わり、伊勢の花火サポーター事業においては、伊勢市より委託を受け寄附金の受付と返礼品の発送などに協力をしました。

今年度の伊勢市の観光は、年度始めに代替わりの奉祝ムードで始まり、年末年始まで好況が継続、そして年度終盤に新型コロナウイルスの影響を受け始める事となりました。移動の制限や自粛から、先行きの見えない状況の下で年度を終えることになりましたが、地域の観光協会としては地域の観光業を支え、終息を見据えた誘客政策を考えていきたいと考えております。

なお、具体的な事業内容は次ページより。

<公益目的事業—旅客誘致事業> ※見出し横の事業費は経常費用を記載しております

1 広報宣伝事業(情報発信部会、青年部、事務局)

① インターネットによる情報の発信(IT 委員会、事務局) 4,522 千円

協会の HP(ホームページ)につきましては、ホームページアクセス(ページビュー)数は、1,165,789 件(前年度 893,097 件)、1 日平均 3,193 件(前年度 2,446 件)と約 31%の増となりました。アクセス数は上昇しましたが一昨年前と比較すると少ない状況にある。引き続き対応をしていきます。新たな情報発信としてインフルエンサーを4名招聘し、SNSを活用した情報発信を行い、インフルエンサーが紹介する女子旅特設サイトを作成した。外国語サイトも英語ページのリニューアルを行いました。

ツイッターのフォロワー数は 2,225 人(前年比+288 人)で増加となりました。メールマガジン登録会員数(前年度 982 人)については、965 人と昨年と比較して若干減少しました。

情報発信事業として、首都圏のショッピングモールなどでの観光PRと同時に観光物産展も実施しました。残念ながら3月に予定しておりました首都圏における観光 PR は新型コロナウイルス感染拡大を受け中止とさせて頂きました。

協会公式キャラクター「伊勢まいりんくん」と伊勢市観光 PR キャラクター「はなてらすちゃん」を使ったラインスタンプ販売を継続しております。(販売数 54 件)

② 紙媒体による情報発信(パンフレット/リーフレット) 1,555 千円

紙媒体として情報発信を担うパンフレット/リーフレットにおいては、行政と協働し8種類(外国語に関しては2形態)の着地型/発地型の観光パンフレット及び地図を作成しております、イベントや観光案内所等で配布を行いました。

今年度は、以前に印刷されたものの在庫調整のため、最終的に印刷を行ったものは1種類のみとなりました。

No	事業パンフレット名	当初数量	最終数量	備考欄
1	ええじゃないかお伊勢さん	10,000	10,000	総合パンフ
2	ええじゃないかお伊勢さん概要版	30,000	0	総合パンフ(概要)
3	ええじゃないかお伊勢さん外国語版	30,000	0	
4	二見浦	10,000	0	二見リーフレット
5	市内 Map(てくてく)	150,000	0	基本地図
6	グルメマップ	10,000	0	お食事マップ
7	Map Of Ise	5,000	0	英語市内地図
8	ポケナビ	20,000	0	ポケットリーフレット

③ 伊勢観光大使及び伊勢観光御師(御師委員会)432千円

首都圏等における情報発信を円滑且つ効果的に進めていく為に、当会は観光大使・観光御師制度を設けております。現在、下記の方々に委嘱をさせて頂いております。金井耿御師におかれましては、全ての公職を退かれたとのことで、ご退任ということになりました。

残念ながら本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年2月21日に東京大神宮マツヤサロンにて予定をしておりました、御師会議並びに伊勢観光振興交流会を中止とさせて頂きました。

観光御師ネットワーク構築事業におきましては、日本各地に伊勢との「繋ぎ役」を作り、伊勢とのネットワーク構築を目指しております。全国に観光御師のような人材を確保し、ネットワークを構築することを目的としております。

今年度、北海道札幌市において、最初のネットワーク組織設立を3月に予定しておりましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大により延期とさせて頂きました。今後は、事態の終息を待って事業を再開する予定です。

本事業に関わり、御師様のご紹介で伊勢にお越しになる方々にもアテンドなどを積極的に行い、人脈を広げてきました。

伊勢観光大使並びに観光御師名簿

	所 属	役 職	氏 名
観 光 大 使		アスリート	野口 みずき 氏
	ファンタシウム	タレント	楠田 枝里子 氏
	トゥーフロント	女優	夏樹 陽子 氏
観 光 御 師	株式会社ジェイティービー (元会長・社長)	相談役	舩山 龍二 氏
	株式会社共立メンテナンス (岡三興業株式会社 元代表取締役社長)	リゾート事業部 特別顧問	松本 久雄 氏
	株式会社びゅうトラベルサービス (日本観光振興協会 元理事長)	顧問	見並 陽一 氏
	人流・観光研究所 株式会社東麻布企画 (元加賀市長)	所長 社長	寺前 秀一 氏
	三井住友信託銀行株式会社	名誉顧問	村上 仁志 氏
	東勢会/瑞泉古酒の会 (セコム株式会社 元専務取締役)	会長	佐々木 信行 氏
	(澁澤倉庫株式会社 元社長・会長)		北村 敏夫 氏
	東海旅客鉄道株式会社	特別顧問	松本 正之 氏
退任	(一般社団法人日本交通協会 元理事長) (株式会社日本旅行 元社長・会長)		金井 耿 氏

④ 外国人観光客誘致事業(情報発信部会、青年部) 579 千円

以下の海外でのPRをはじめとする事業を実施しました。

・タイ バンコク観光 PR (インバウンド対策委員会)

(11月8日(金)~11月10日(日))

前年度に引き続きの取り組みとして、Visit Japan FIT Fair 2019「第13回 FIT フェア」(主催:JNTO)に参加をしました。今年度も、三重県と近畿日本鉄道のブース出展に合わせ、伊勢市として出展をさせて頂き、伊勢市の観光PRを行いました。今回は、この為にインバウンド委員会で作成した英語チラシを持参し配布を行いました。

・シンガポール外客誘客調査事業(インバウンド対策委員会)

(11月6日(水)~11月7日(木))

インバウンド委員会の所属で、居住地をシンガポールに構える会員事業所からお話を頂き、シンガポールでの観光PRについてのご提案を頂きました。

それを受けバンコクでの観光PRに合わせ、現地視察と打ち合わせを行いました。アジアのビジネスセンターであるシンガポールで情報発信をすることができれば、アジア全体へのPRに繋がると考えております。

⑤ 観光PR事業(情報発信部会、青年部、事務局) 2,865 千円

各地へ出向き伊勢の観光情報の発信と観光物産展による収益事業と情報発信を行いました。本年度は以下の場所でPRを行ってきました。これに合わせ、PR時に配布するグッズの作製も行いました。名古屋の蔦屋書店とのコラボレーションPR企画として、店舗の一角に伊勢ブースを設置しPRを行いました。残念ながら、3月に予定していた東京大神宮(東京)、札幌チカホ(北海道)における観光PRは、新型コロナウイルス感染拡大を受け中止となった。

観光PRのためのPR用品も企画制作し、ボールペン、付箋、ハンドタオル、クリアファイル、手提げ袋などを製作しました。

<観光PRキャラバン> ※括弧内は物品販売の売り上げ

・令和元年11月14日(木)~17日(日) (2,287,276円※全体売上)

東急百貨店日吉店お伊勢さんうまいもんフェア(神奈川県横浜市)

・令和2年1月10日(金)~13日(月) (604,800円)

たまプラーザテラス伊勢の観光PR(神奈川県横浜市)

<名古屋みなと蔦屋書店での観光PRイベント伊勢フェア>

・令和2年2月10日(月)~3月19日(木) (89,177円※全体売上)

⑥ 日本観光祈願祭及び観光交流伊勢会議

(観光交流伊勢会議実行委員会) 821 千円

第 52 回日本観光祈願祭を 12 月 10 日に 39 名の参加を得て神宮外宮にて開催し、観光産業の健全な発展と旅行の安全を神宮へ祈願しました。併せて開催された第 15 回観光交流伊勢会議には128名(観光関係者・一般)が参加頂き、JTB 総合研究所 高松 正人 氏の特別講演「災害から観光客と事業を守るために」を実施しました。地震大国である日本において、これから起こりうる災害に対しての危機管理や減災についてご講義頂きました。災害発生時に一番観光客が求めている正確な情報、被害状況をいち早く知らせ、迅速な避難や被災地からの離脱を促すことができるような情報発信の在り方について考える良い機会となりました。

2 誘致接遇事業

① 観光案内所事業(事務局) 32,054 千円

外宮前、宇治山田駅、伊勢市駅、宇治浦田及び二見浦観光案内所について

案内所実績表(電話対応を含む)

	外宮前	宇治山田駅	伊勢市駅	宇治浦田※	二見浦	合計
令和元年度 (うち外国人)	66,523 人 (1,928 人)	16,199 人 (526 人)	75,861 人 (4121 人)	35,128 人 (479 人)	18,629 人 (1038 人)	212,340 人 (8,092 人)
平成30年度 (うち外国人)	78,841 人 (2,433 人)	20,999 人 (464 人)	92,224 人 (4,754 人)	73,654 人 (891 人)	14,659 人 (906 人)	280,377 人 (9,448 人)
対前年比	△84.37 %	△77.14%	△82.26%	△47.69%	127.08%	△75.73%
(うち外国人)	△79.20%	113.36%	△86.68%	△53.76%	114.57%	△85.64%

令和元年度神宮参拝者数は、5月の春の御大礼から順調に伸びていたところ、新型コロナウイルスの影響が令和2年1月中旬以降に出始め、急激に減少しました。案内所案内数も神宮参拝者数に比例しますが、宇治浦田(※)はトイレを別の場所に新築したことも、影響を与えています。

海外からのお客様の動向に関しては、全体の案内数の減少に比べ緩やかであり、ラグビーワールドカップ等で来日した外国人観光客が、伊勢を旅先に選んでくれたことと推測されます。

スマートフォン所有率上昇とウェブ情報の充実化などの社会情勢の変化により、案内所の利用数は年々減少傾向にあります、観光案内所は従来の運営からの転換が必要となってきたと考えております。新しい案内所のありかたを含めた伊勢市の受け入れ環境整備を様々な主体とともに検討したいと考えております。

多様なニーズにきめ細やかに対応する取り組みとして、案内所の特性に合わせ車いす・ベビーカーの貸出やレンタサイクル、手荷物預りを行っており、旅客の利便性の向上に役立っています。

② 手荷物事業(事務局)5,004 千円

来勢されるお客様への更なる便宜を図るために、伊勢市駅と宇治山田駅において手荷物事業を実施しました。手荷物事業に付帯して伊勢市駅手荷物預り所建屋の管理(多目的トイレ、授乳室、休憩所など)、レンタサイクルの貸出、簡単な観光案内などを行っております。令和元年度は、廃止されていたJTBの手荷物サービスクーポンが一部復活(半額補助クーポン)したことを受け、対前年で手荷物預り35%増、配送サービス12%増という結果となりました。数字的には回復をしては来ているものの、JTBがクーポンの電子化(紙媒体を廃止してスマートフォンのアプリ化)を令和2年度に実施するなど、利用率にかかわる変化も予定されております。引き続き、本事業のシステムの改善を図り、収益率の向上を目指します。

伊勢市駅では総取扱い金額で3,002万円(前年度2,574万円)、うち手数料収益318万円(前年度265万円)、宇治山田駅では総取扱い金額で338万円(前年度162万円)、うち手数料収益36万円(前年度17万円)と増収となりました。

鳥羽駅から回送バスを利用した、手荷物受取りサービスに関しては、426件(手数料収入4万円)となりました。

①伊勢市駅手荷物預り所

単位:個

	手荷物預り			ホテル配送		
	H30実績	R1実績	増減	H30実績	R1実績	増減
4月	1,664	2,921	1,257	1,171	1,668	497
5月	2,222	4,156	1,934	1,553	1,929	376
6月	773	1,818	1,045	870	1,238	368
7月	1,252	1,676	424	890	1,129	239
8月	2,477	2,712	235	1,524	1,641	117
9月	2,370	2,888	518	1,428	1,727	299
10月	2,442	2,270	-172	1,670	1,692	22
11月	3,386	4,042	656	1,923	2,007	84
12月	1,376	2,193	817	884	1,112	228
1月	2,114	2,435	321	916	1,180	264
2月	1,606	2,508	902	931	1,112	181
3月	2,811	801	-2,010	1,568	541	-1,027
合計	24,493	30,420	5,927	15,328	16,976	1,648

②宇治山田駅手荷物預り所

単位:個

	手荷物預り			ホテル配送		
	H30実績	R1実績	増減	H30実績	R1実績	増減
4月	26	330	304	98	187	89
5月	24	339	315	245	258	13
6月	7	170	163	89	149	60
7月	20	156	136	95	188	93
8月	51	292	241	140	214	74
9月	29	262	233	158	160	2
10月	26	272	246	191	198	7
11月	51	610	559	174	249	75
12月	21	213	192	95	154	59
1月	57	245	188	98	200	102
2月	27	217	190	121	127	6
3月	83	161	78	166	82	-84
合計	422	3,267	2,845	1,670	2,166	496

② 「お伊勢さん観光ガイドの会」 375 千円

(お伊勢さん観光ガイドの会運営委員会、おもてなし行事部)

外宮前観光案内所において、神宮のガイド「お伊勢さん観光ガイドの会」が常駐し、日々観光客のご案内に務めています。現在の会員数は 51 名。

本年度のガイド件数は 3,712 件(前年度 3,763 件)で 11,818 人(前年度、11,774 人)の観光客を案内しました。件数ベースで昨年対比約 99%と微減しております。本年度は、年明けからの新型コロナウイルス感染拡大を受け、2 月後半より案内受付を中止しました。2 月～3 月の実績においては、対前年比で 45%にとどまり、3 月に関しては、件数で前年の 9%まで減少しました。

	案内件数	案内人数	件数 対前年比
R01	3,712	11,818	△99%
H30	3,763	11,774	△93%
H29	4,012	12,890	116%
H28	3,441	10,896	107%

本会においては雑誌、TV、ラジオ等多数のメディア取材にも協力しており、協会の情報発信の一翼も担っています。伊勢志摩学生団体誘致委員会の修学旅行へのガイド協力も積極的に行なっております。さらに、県のボランティア組織にも属し、活動を行っております。

※注1 その他誘客事業費計 3,485 千円

以後の説明で「※その他誘客事業に含む」とある場合は上記事業費に含まれております

④ レンタルサイクル事業(事務局、青年部) 847 千円

53 台の自転車(外宮前 10 台、宇治山田駅 3 台、伊勢市駅手荷物預り所 25 台、伊勢シーパラダイス 10 台、パールピアホテル 5 台)を維持管理し、運用しています。(伊勢シーパラダイス及びパールピアホテルは委託)本年度貸出件数は 3,661 台(外宮前案内所 1,339 台、宇治山田駅案内所 112 台、伊勢市駅 2,045 台)となりました。前年度 3,594 台から 2%の増加となりました。(レンタルサイクル収益計 3,694,770 円/前年 3,527,700 円、前年+5%)。更なる利用率向上を図るため、引き続きじゃらん体験メニューでの販売を行いました。

今年度は、宇治山田駅観光案内所の貸し出しが保管場所の補修工事のため 5 か月に渡り実施出来なかったことや、夏季の天候が不順であったことなどの要因があったものの貸し出し件数に関しては前年を上回ることができました。新型コロナウイルスの影響を受け、落ち込みを見せるかと思われた 2 月～3 月の実績に関しても、「3 密」となりうる循環バスなどの利用を避けた利用があったものと推測しております。

【月別レンタルサイクル利用者数表】

		外宮前 観光案内所	宇治山田駅 観光案内所	伊勢市駅 手荷物預り所	その他	計
年度	月	台数	台数	台数	台数	台数
R1	4 月	115	4月～9/25まで 貸出なし	184	19	318
	5 月	168		251	19	438
	6 月	80		127	19	226
	7 月	45		98	6	149
	8 月	76		172	10	258
	9 月	88	2	181	24	295
	10 月	104	13	130	8	255
	11 月	136	23	229	19	407
	12 月	141	16	184	8	349
R2	1 月	177	19	202	9	407
	2 月	104	15	114	10	243
	3 月	105	24	173	14	316
合計		1,339	112	2,045	165	3,661
参考 H31 度実績		1,108	295	2,126	65	3,594

- ⑤ 御遷宮対策事業(おもてなし行事部、事務局) ※その他誘客事業に含む
 御遷宮委員会の一員として、次回の神宮式年遷宮へ向けて様々な協議を進めました。令和元年度は御代替わりに合わせて、参拝を行うなど次回遷宮の民俗行事に向けて、奉曳団の意識向上と結束を図りました。引き続き、民俗行事の次世代継承を基軸に活動をし、広報誌の発行や初穂曳への協力など民俗行事の遂行への協力をしました。
- ⑥ 公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構への協力
 ※その他誘客事業に含む
- ・伊勢志摩学生団体誘致委員会(事務局)
 伊勢志摩地区への学生団体旅行の誘致を行なう委員会へ参画し、誘客の企画やPR、伊勢市での歓迎行事等に協力しました。
 - ・伊勢志摩フィルムコミッション(事務局)
 伊勢志摩地区でのテレビ取材や映画撮影等の誘致、撮影協力を行なう組織に参画し、情報の共有、撮影への協力等を行ないました。
 - ・観光企画委員会(事務局)
 伊勢志摩地域における広域観光を協議する会議へ参画し、企画立案等に協力しました。
- ⑦ 御大礼奉祝委員会(理事、事務局) ※その他誘客事業に含む
 御代替わりに際し、伊勢市での奉祝ムードを醸成し来訪者をもてなす施策を協議、検討、実施するために、伊勢市、商工会議所、その他市民団体と本委員会を立ち上げ、当会もそれに参画しました。令和元年度は御代替わりの年となり、奉祝のぼり旗の掲示、提灯行列、記帳所の開設などを行いました。
- ⑧ 伊勢商工会議所及び伊勢市との協力事業 ※その他誘客事業に含む
- ・中心市街地活性化協議会への参画 ・DMO への参画
 - ・伊勢まちづくり会社への参画 ・参宮木札配布への協力
 - ・「常若婚」への協力 ・お伊勢さんマラソン ・その他
- ⑨ 各種大会の接遇(事務局) ※その他誘客事業に含む
 下記の各種大会に歓迎看板または四角塔の掲示を行いました。
- ・神宮奉納社会人野球大会 ・神宮奉納相撲大会
 - ・全日本学生弓道選手権大会 ・全日本学生対抗駅伝大会
 - ・伊勢神宮新穀感謝祭 ・お伊勢さんマラソン大会
 - ・全国高等学校総合体育大会
- ⑩ 周遊クーポン事業 1,254 千円
 市内の周遊促進のために、周遊クーポン「伊勢パス」を販売しました。市内 45 参加店舗で使用できるクーポンブックで、販売実績は 714 枚。

3 観光イベント事業

- ① 春まつり(おもてなし行事部) **4,249 千円**
今年度は、4 月1日から 10 日の期間に宮川堤にて開催。また、期間中には桜のライトアップを行いました。4 月 1 日には、市内の桜関係者を招いて桜びらき神事を宮川堤で斎行しました。
- ② 第 15 回観光交流伊勢会議及び第 52 回日本観光祈願祭
(観光交流伊勢会議実行委員会)
※詳しい内容は、1 広報宣伝事業 ⑦を参照してください。
- ③ 二見浦海水浴場 浜開き式(おもてなし行事部) **※その他誘客事業に含む**
7 月 6 日(土)に、海の安全と海水浴場の安全を祈願する神事を、伝統ある二見浦海水浴場にて執り行い、30 名の方にご奉仕頂きました。
- ④ 第 67 回伊勢神宮奉納全国花火大会 **※その他誘客事業に含む**
(おもてなし行事部)
7 月 13 日(土)に開催され、残念ながら雨天となりましたが、今年度の観客来場数は約 190,000 人でした。協会はチケット先行販売出務や当日の出務で本部対応、花火師対応、観客席対応、警備本部対応などで協力しました。
- ⑤ 冬至の奉納(おもてなし行事部) **58 千円**
12 月 22 日(日)にゆず 15Kg、かぼちゃ 30kgを神宮へ奉納しました。
- ⑥ 参宮木札の配布(外宮前観光案内所、事務局) **※その他誘客事業に含む**
国の補助事業「地方の元気再生事業」の一部として始まり、今年度で 12 年目となる参宮木札事業に協力しました。外宮前案内所前にて配布の協力をしました。
- ⑦ 年越餅つき行事・年越餅の贈呈(おもてなし行事部) **337 千円**
12 月 25 日(水)、外宮衛士見張所付近において、猿田彦神社宮司様により神事を行うと共に、市長をはじめとする関係者 30 名で餅つきを実施、外宮に奉納するほか見学者にも振るまいを行いました。
また、12 月 31 日(火)午後 11 時から元旦未明にかけて、外宮衛士見張所付近並びに内宮参集殿付近参道にて年越詣の参拝者に年越餅各 4,000 個を参拝客に贈呈しました。

⑧ 「伊勢楽市」事業への協力(事務局、青年部)

本年度の伊勢楽市を、春季5月11日～12日、秋季11月2日～3日の2回開催し観光客を始め市内外からの多数の来場がありました。伊勢志摩の産物にこだわり、観光客のみならず伊勢市民にも喜ばれております。各種団体のPRブースを配置するなど外宮前の活性化に貢献をしました。

⑨ おもてなし講習会(事務局、青年部) 331千円

年2回おもてなし研修会を開催しました。会員を中心とした観光業従事者を対象にマナー講習、バリアフリー研修を開催し知識等の向上を図りました。令和2年3月に3回目を開催予定でありましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送りました。

⑩ 研修事業(親会、青年部) ※その他誘客事業に含む

協会におきましては、伊勢市においての観光振興に役立てるために先進地への視察を行っております。本年度は、外国人に人気の岐阜県の白川郷を目的地とし、インバウンド観光について当地観光協会協力の下、研修と視察を行った。

青年部の研修視察も、インバウンド観光をテーマに京都市にて研修視察を行いました。京都市役所によるインバウンド政策のオーバーツーリズムに関する講習会や、森田英一氏によるセミナーを受講し、視察においては外国人が多く訪れる平安神宮や清水寺などを巡り、巨大なインバウンドマーケットの実態と人気観光地におけるオーバーツーリズムの弊害について視察を行いました。

4 協会が協力した諸行事 ※その他誘客事業に含む

本年度、下記行事に後援及び協賛した。

- ・猿田彦神社御田祭及び七五三祭
- ・倭姫宮秋の例大祭
- ・御幣鯛
- ・高柳の夜店
- ・おかげ横丁夏まちまつり
- ・二見大祭しめなわ曳
- ・さるめ書道展
- ・初穂曳
- ・伊勢まつり
- ・神宮菊花展
- ・お伊勢さんマラソン大会
- ・御大礼奉祝提灯行列
- ・初午祭
- ・外宮さんゆかたで千人お参り
- ・伊勢の伝統の能楽まつり
- ・来る福招き猫まつり
- ・一色神社例祭奉納能
- ・おひなさまめぐり in 二見
- ・伊勢神宮奉納書道展
- ・神宮奉納大相撲
- ・その他

5 市受託事業

① 観光案内所の運営

宇治山田駅観光案内所、伊勢市駅観光案内所、宇治浦田観光案内所、外宮前観光案内所、二見浦観光案内所において案内所員 10 名にて業務を行いました。二見浦案内所に関しては、二見町旅館組合に委託しております。

※案内実績については「2 誘致接遇事業 ①観光案内所事業を参照

② 二見浦海水浴場 2,959 千円

当協会においては、日本初の公認海水浴場である二見浦海水浴場を伊勢市より受託運営しております。今年度は新たな取り組みとして、二見サマーフェスティバル 2days を 7 月 28 日(日)、8 月 11 日(日)の 2 日間開催し、ビーチヨガ、ビーチサンダル飛ばし大会、宝まきなどのイベントを行いました。

本年度の入り込みは、開催期間 7 月 6 日～8 月 31 日の合計で、16,210 人で対前年(7,500 人)に比べ 8,710 人の増(216%)という結果でした。イベントの開催、飲食提供等や PR の効果に加え、駐車場・更衣室が無料化されたことにより入込数は大幅増となりました。

③ 伊勢市駅手荷物預り所運営

お客様の便宜を図り「手ぶら観光」を推進するために、伊勢市より受託運営しております。

※詳細は、2 誘致接遇事業 ②手荷物事業を参照

6 青年部活動 ※青年部総会資料より抜粋、事業費の記載のない物は「その他誘客事業」に含む

●事業報告

◇伊勢のまち発展委員会 595 千円

- ◆観光マップ作成事業 夜の飲食店マップ「伊勢の夜 なに食べよ なに呑もか」
3 月 5,000 部増刷
- ◆青年部手帳の作成 5 月 100 部発行
- ◆名簿の管理 新入会員の名簿の追加作業
- ◆名刺の作成 役員の名刺作成
- ◆ええじゃないか伊勢 青年部ページの作成を行った
- ◆グループウェアの管理 エンジェルタッチの運用を開始、周知に努めた

◆委員会開催数 10 回

◆担当例会月

- ・5月総会 「5月総会」参加者 31名
- ・7月家族例会「鳥羽みなとまつり 2019」
参加者 44名(大人 28名、子供 16名)
- ・10月例会 「京都研修視察」
参加者 17名(青年部 12名、事務局 1名、親会 3名、市役所 1名)
- ・1月例会 「新年観光交流会」
参加者 53名(青年部 33名、事務局 2名、伊勢市10名、親会理事 8名)
- ・3月例会 「3月総会」書面での決議にて可決

◇おいな伊勢委員会

◆観光PRキャラバン ※1広報宣伝事業 ⑤観光PR事業を参照

- ・令和2年1月11日～13日 神奈川県 たまプラーザ観光PR
- ・観光物産展の売り上げ 観光PRの効果を図る一つの施策として、伊勢を広く周知するための一つの指標として、売り上げの数字に着目いたしました。伊勢に興味を持っていただき、銘品を説明、また購入頂くことにより、交流が図れたことが表れた数値と考えます。売上 601,800円

◆ファンクラブ事業 580千円

- ・ファンクラブ通信の発行(令和元年度春・夏号、秋・冬号、春号 計3回)
- ・ファンクラブHPの運用
- ・ファンクラブ会員証を使った特典の実施(参宮木札の引き換え) ファンクラブ会員証を使った特典として、外宮前観光案内所で会員証を提示すると『伊勢あんちょこ』をプレゼントするという企画を継続しています。

- ・『伊勢フォトグランプリ』の開催 伊勢市の情報発信拡大を目的として、伊勢市観光協会青年部が運営するファンクラブ会員を始め、伊勢市に訪れた観光客や地元民などプロ・アマ問わず『Instagram』を通じて発信していただくことにより、伊勢市の魅力を様々な視点から多くの人に知っていただくきっかけとなるように開催いたしました。当イベントのInstagram公式アカウント【@isephoto_grandprix】をフォローし、撮影した写真に、【#いせフォト】のハッシュタグをつけて投稿していただきました。

1,140名のフォローに投稿いただいた約3,300枚の作品の中から、青年部員・伊勢市観光誘客課にて厳選した作品から投票により各賞の受賞者選定を2月例会に行いました。次年度は、新たにSNS情報発信事業をスタートし時代に合った伊勢市の魅力ある情報発信を進めていきたいと思っております。

◆ええじゃないか便事業・観光PRキャラバンやインターネット販売のコンセプトに合わせた商品をラインアップいたしました。

◆レンタサイクルPR活動事業 レンタサイクル『伊勢MYりん』を利用したエコツーリズムに繋がるPR活動を行いました。

◆委員会開催数 11回

◆担当例会

- ・4月『新年度観光協会青年部決起集会&御大礼勉強会』講師御大礼奉祝実行委員会 木造副実行委員長氏 参加 32名
- ・8月『見て・聞いて・食べて知る物産品体験会&グループディスカッション』参加26名
- ・11月『クイズプレゼンリアリティGPRさま 伊勢の知識を得てめざせ検定お伊勢さん!?』参加 22名
- ・2月『伊勢フォトグランプリ 2019 受賞作品選定会』参加 18名

◇ほないこ！まいりんくん実行委員会 162千円

◆イベント出演・観光 PR 活動

- ・令和元年度は合計28回のイベント等に出演し、伊勢の観光情報の頒布物やキャラクタグッズを配布し、PR活動を行いました。
- ・イベント前後には、告知や報告を SNS で情報発信し PR に努めました。

◆ノベルティグッズの作成・販売用グッズの作成と販売

- ・ノベルティグッズ ステッカーを作成
- ・販売用グッズ ビニール傘、ガチャガチャ(機械・景品)

◆地域の大学等との連携・ボランティアスタッフの募集

- ・皇學館大学CLL地域学習支援室と連携して、学生7名とイベント出演や6月例会を開催しました。また、学生のアイデアをもとにガチャガチャを制作しました。

◆担当例会

- ・6月例会「伊勢まいりんくんと盛り上がりよう」参加者 20名

<収益目的事業—賃貸事業> 758千円

- ・伊勢市駅前ビル 鉄筋4階建て
 - ・風餐亭 1F 研修室
- 伊勢市駅前ビルを賃貸物件として運用、風餐亭1F 研修室は貸し会議室として運用しています。

<収益目的事業—物品販売事業> 33,144 千円

「伊勢乃国発ええじゃないか便」に関しては、インターネット通販は一旦休止し、新たな事業企画を検討しています。伊勢市ふるさと応援寄附金の返礼品に関しては返礼品の受付発送業務だけでなく、PR や新たな返礼品の開拓を行いました。

令和元年度は 32,019,005 円(前年 28,537,999 円、対前年度 112.19%)の総売り上げがありました。伊勢の特産品を広く知らしめると共に、伊勢への誘客 PR を効果的に実施してきました。

<収益目的事業—その他(会員互助事業)> 145 千円

①広報誌「ええじゃないか伊勢」の発行(情報発信部会、総務委員会、青年部)
情報発信部会及び青年部総務委員会の共同製作の会員広報誌として、第 36 号を 6 月 18 日に 600 部発行しました。

<法人事業—中期政策検討部会> ※法人事業(会計)に含む

本部会では、協会運営に関する重要事項や、コンプライアンス対応を協議及び実施しております。本年度は引き続き収益改善にむけて、新事業の取り組みや既存収益事業の改善を図りました。新型コロナウイルス感染拡大による、当会事業所への調査をいち早く行い、国、県、市、そしてメディアと情報共有を行い、伊勢の窮状を訴えました。